

NANKAI REPORT

—— 株主通信

2022.06



沿線ガイド

りんくう・泉南エリア - 大阪屈指のビーチで開放的な休日を。

りんくう・泉南エリアは、大阪市中心部から電車で1時間弱というアクセス良好なロケーションで、ショッピングやアクティブレジャーを満喫できる大阪屈指のビーチリゾート。2020年にオープンした「SENNAN LONG PARK」は、スポーツ・食・レジャーをまとめて楽しめるレクリエーション施設です。西日本最大級の展望アスレチックを中心に、心地良い潮風の中で汗を流せるアクティビティエリア、開放的なビーチロケーションでBBQを楽しめるコミュニティエリア、地元漁港からの新鮮な水揚げ食材が手に入るマルシェエリア、そしてラグジュアリーなグランピングエリアなど、1年を通してシーサイドレジャーを楽しむことができます。また、「りんくうプレミアム・アウトレット」もエリア随一の人気スポット。海外のショッピングリゾートを思わせる雰囲気、心躍ること間違いなし!欲しいものが、きっと見つかります。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

「NANKAI REPORT(株主通信 2022年6月発行)」をお届けするにあたり、ひとことごあいさつを申し上げます。

2021年度におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、コスト削減を中心とした抜本的な事業構造改革とともに、中長期的な成長に向けた布石を打つ取組みを推進してまいりました結果、当事業年度の業績は別掲のとおりと相成り、期末配当につきましては、1株につき25円(中間配当を見送りましたので年25円配当)とさせていただくことに決定いたしました。なお、2022年度の配当につきましても、すでにご案内のとおり、中間配当は見送り、期末配当としてまとめて25円の配当を予定しておりますので、株主の皆さまには、なにとぞご了承を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社グループはこれまで安全・安心な交通サービスや駅を拠点としたまちづくりを通して、沿線の皆さまや地域とともに発展・成長を遂げてまいりました。一方で、今後とも持続的な企業価値の向上を実現するためには、コロナ禍によって人々の価値観や行動様式が大きく変容したように、社会環境がいかに変化しようと、企業活動と環境・社会システムの健全な活動が両立する「持続可能な社会の実現」に向けて、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組むことがより一層重要になってまいります。

このような認識の下、当社グループがめざすべき姿として、「南海が描く“2050年の企業像”」を新たに設定するとともに、その実現に向けた第一歩として、2022年度から2024年度までの3年間を対象とする新中期経営計画「共創140計画」を策定し、着手いたしました。同計画におきましては、コロナ禍を経ての「再構築」と「成長への基礎構築」を行うために、「公共交通事業の持続可能な経営」及び「選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大」という事業戦略に基づき、公共交通事業への計画的な安全・更新投資のほか、なにわ筋線事業の推進や沿線各所におけるまちづくりをはじめとする戦略投資を確実に実行することに加え、既存の交通事業・不動産事業に続く第3の柱の創造に向けた「未来探索」として、新たな事業の芽の育成にも投資を振り向けてまいります。また、これらの事業戦略の下支えとなる「人事戦略」と「財務戦略」を策定し、これら3つの戦略を連動させることで、事業戦略に基づく戦術と打ち手を着実に実行してまいります。

当社グループをとりまく環境は依然として厳しい状況ではありますが、地域の皆さま方をはじめとするさまざまな関係者・ステークホルダーとの間で、「共に新たな価値を創っていく」という「共創」の精神に則り、役職員全員が一丸となって、「共創140計画」の完遂に向けて力強く邁進してまいる所存でありますので、なにとぞ株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

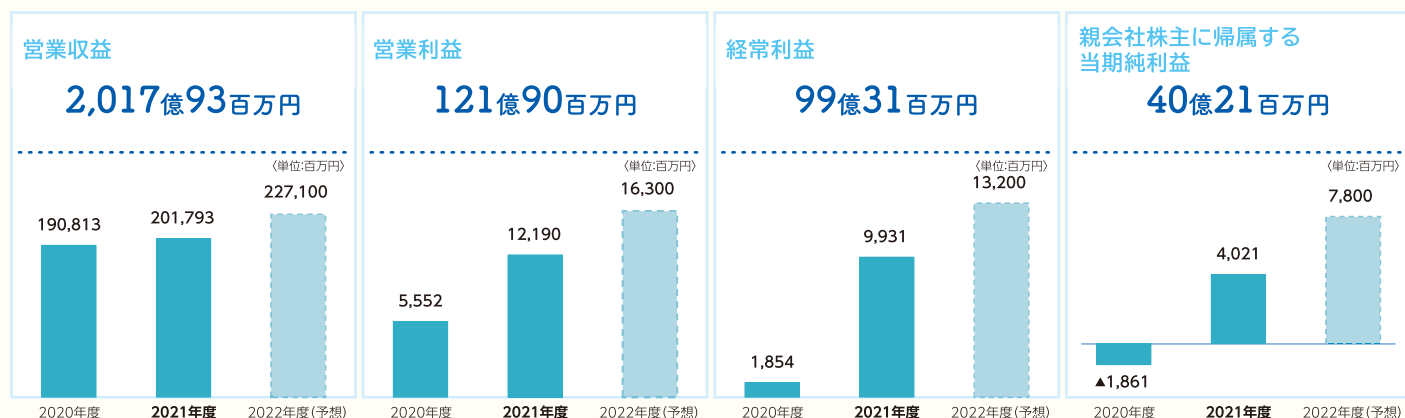


2022年6月

代表取締役社長 遠北 光彦

決算の概要

2021年度 連結決算の概要



* 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2021年度から適用しており、2021年度以降の各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

セグメント別業績

運輸業 (35社)

営業収益 / 833億71百万円
営業損失 / 73億82百万円



引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、鉄道事業やバス事業において前期と比べ輸送人員が増加したことや「収益認識に関する会計基準」等を適用したこともあり増収となり、損失幅は縮小しました。

不動産業 (5社)

営業収益 / 455億98百万円
営業利益 / 125億77百万円



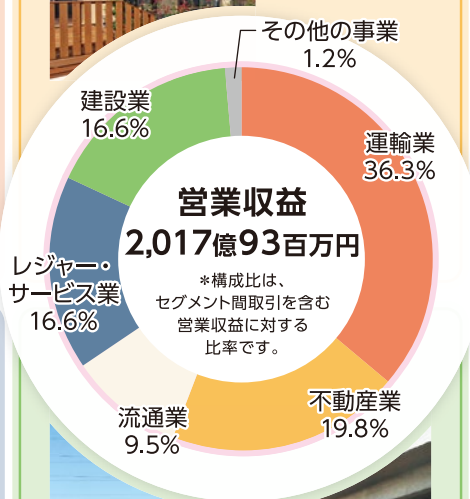
不動産販売業において事業用物件の売却が増加したことなどもあり増収となりましたが、不動産賃貸業における既存物件の減収などにより減益となりました。

流通業 (9社)

営業収益 / 219億65百万円
営業利益 / 11億44百万円



「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、消化仕入に係る収益を純額で認識したことや、コロナ禍の長期化による影響などもあり、減収減益となりました。



ビル管理メンテナンス業において設備工事収入が増加したことなどにより、増収増益となりました。

レジャー・サービス業 (21社)

営業収益 / 382億41百万円
営業利益 / 38億34百万円



完成工事高の減少などにより減収となったものの、利益率の改善などにより増益となりました。

建設業 (4社)

営業収益 / 381億21百万円
営業利益 / 19億59百万円



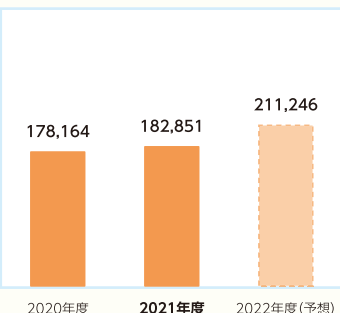
その他の事業 (7社)

営業収益 / 26億53百万円
営業利益 / 1億76百万円

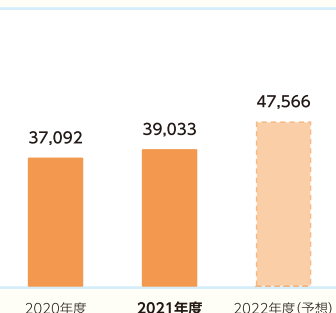
*セグメント別の会社数は、連結子会社、非連結子会社及び関連会社の合計を記載しています。なお、セグメントの分類上、当社及び泉北高速鉄道株式会社が重複して含まれています。

運輸成績 (個別)

輸送人員 (単位:千人)



旅客収入 (単位:百万円)



*業績・配当予想は、2022年4月28日時点で公表したものであり、実際の業績・配当はさまざまな要因により異なる可能性があります。予想に修正が生じた場合は、当社ウェブサイトなどで速やかにお知らせします。

期末配当について

当社は、長期にわたる安定的な経営基盤の確保と財務体質の強化に努めつつ、収益のさらなる向上をはかることにより、株主の皆さまに対して、安定的な配当を行うことを基本方針としています。当期の期末配当につきましては、1株につき25円(中間配当を見送りましたので年25円配当)とさせていただきます。なお、2022年度の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が今もなお継続していることなどに鑑み、中間配当は見送りとし、期末配当として1株につき25円の配当を予定しています。

決算の詳細についてはこちら

🔍 南海電鉄 決算短信

🔍 検索



新中期経営計画「共創140計画」

2022年度から2024年度をコロナ禍を経ての「再構築」と「成長への基礎構築」を行う3年間としてあらためて位置づけた中期経営計画「共創140計画」を策定しました。

南海が描く“2050年の企業像”とは

2027年度のありたき姿を定めた「南海グループ経営ビジョン2027」に加え、当社グループがこれまで推進してきました「持続的な企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」を両立するサステナブル経営の考え方にに基づき、当社グループがめざすべき姿として、南海が描く“2050年の企業像”を新たに策定しました。

地域共生・共創／多様な暮らし方

地域の人々とともに

地域密着を旗印に、地域・沿線の人々とのつながりを大切に保ち、多種多様な人々が幸せに暮らせる多彩な“まち”を、地元と一体となって創っていく。

沿線への誇りを礎に、
関西にダイバーシティ^(※)を築く
事業家集団

多様性・グローバル

“Think Globally, Act Locally”

開空という世界(アジア)とつながる玄関口、そして“なんば”という多彩なまち...
これからも世界から多様な人々が集うこの地に寄り添いながら、互いの価値観や個性を認め、高めあえる多様性を育てていく。

モビリティ

公共交通事業者としての使命

これまで沿線で培ってきた安全・安心の運輸事業の歴史とその責任を、“人與人”、“まちとまち”、そして“人とまち”をつなぐ多様なモビリティ事業への深化で具現化し、未来につなげていく。

南海らしさ

“みらい”を自ら切り拓く強い意志

創業からの長い歴史、その道筋で築いてきた南海グループの文化とアイデンティティ、そしてこの先の新たなロードマップ。私たちは、社会の一員としての使命と責任を胸に、新しいことに“挑戦し”、“やりきる”事業家集団となり、南海の“みらい”を切り拓いていく。

※ダイバーシティ:「多様性」に代表される“Diversity”と、「多様性あふれる街」を意味する“Diverse City”=“DiverCity”(造語)の2つの想いを表現している

共創140計画

▶ 基本方針

コロナ禍を経ての「再構築」と「成長への基礎構築」を行う期間

- あらゆるステークホルダーとの“共創の精神”は不変
- なにわ筋線開業に向けたコア事業の戦略投資を確実に実行
- 未来に向けての成長の基礎を3年間で構築

- ・「安全・更新」投資は、3年間で加速させ確実に実行
- ・「南海グループ経営ビジョン2027」での2つの事業戦略の実行を加速
- ・新たな事業の芽の育成にも十分な投資枠を確保

「満足と感動の提供を通じて、選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる」

深展133計画
2015～2017年度

共創136計画
2018～2020年度

2021年度
経営計画

共創140計画
2022～2024年度

次期中期経営計画
2025年度～

▶ 経営戦略

- ①公共交通事業のサステナブルな経営
- ②選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大
- ③未来探索
- ④上記を支える、人事/財務戦略推進

▶ 2024年度の数値目標(連結ベース)

営業利益^{※1} 280億円

純有利子負債残高/EBITDA^{※2}倍率 7.5倍以下

※1 営業利益+受取配当金 ※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

《参考》

設備投資額(3か年総額) 1,600億円

CO₂排出量削減(2024年度) 2013年度比 32%減



詳しくはこちら

2050年 南海の未来
(企業像)

なにわ筋線開業

南海グループ
経営ビジョン2027

本年度

新今宮駅がリニューアル!

2020年10月からリニューアル工事を進めてきた
新今宮駅が2022年3月供用を開始しました。

難波駅に次ぐ乗降客数を誇る新今宮駅の東側では、「OMO7 (おもせぶん) 大阪 by 星野リゾート」が開業するなど、とりまく環境が大きく変化しており、同駅も新今宮・新世界エリアのまちづくりの一環として大きな役割があるという認識からリニューアル工事を進めてまいりました。

Renewal Point!

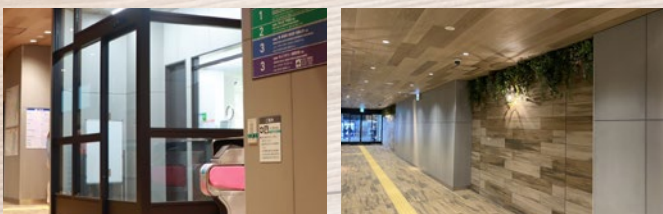
● お客さま動線の単純化による利便性の向上



2階にあった改札口を1階南北通路両側(東・西)に移設

● お客さま対応機能の強化

● 美装化によるイメージ改善

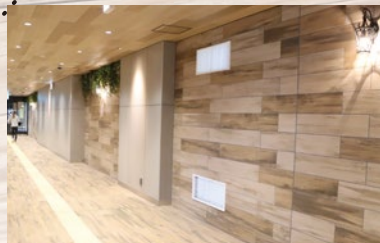


オープンカウンター併設の駅務室

「1階南北通路」を美装化

こだわり

木目調&緑を軸に



KODAWARI
01

新今宮駅の南側、北側の両側から、「公園のように誰もが気兼ねなく安心して利用できる南北通路に」という想いを込めて、あたたかみのある雰囲気醸成しました!

ひだまり・木漏れ日を表現

KODAWARI
02



明るくあたたかみのある雰囲気をめざし、主の照明と色味の異なる「装飾用照明」を設置し、「ひだまり」と「木漏れ日」を表現。

なんばパークス グランドオープン 15周年記念“RENEWAL”

なんばパークスでは、グランドオープン15周年記念として
全4弾にわたり2023年春まで約1年間かけて、リニューアルを実施中!

concept “きもち高ぶる、ワンデイトリップ”
より一層、居心地が良く、魅力にあふれた商業施設へ

第1弾： 全国初出店を含む物販店・飲食店など、合計19店舗がオープン

第2弾： 2022年夏、ミナミエリア最大級のアウトドアショップ「アルベンアウトドアズ」がオープン

第3弾： 2022年秋、ライフスタイル大型専門店がオープン

第4弾： 2023年春、15周年記念リニューアルの集大成として大規模リニューアル

まいにち、
芽吹くひと。



ANNIVERSARY
NAMBA PARKS

詳しくはこちら ▶



株主ご優待制度

株主ご優待制度の詳細については、当社ウェブサイト (<http://www.nankai.co.jp/>) でご案内しています。

次のとおり株主ご優待証類を贈呈いたします。

優待内容 所有株式数	6回乗車 カード	定期券式乗車証	
			軌道・バス 割引付
200株以上 1,000株未満	1枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	2枚	—	—
2,000株以上 4,000株未満	3枚	—	—
4,000株以上 6,160株未満	5枚	—	—
6,160株以上 10,220株未満	1枚	1枚	—
10,220株以上 40,000株未満		—	1枚
40,000株以上 100,000株未満		—	2枚
100,000株以上 200,000株未満		—	3枚
200,000株以上 2,000,000株未満		—	5枚
2,000,000株以上		—	10枚

大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)への 寄付について(ご報告)

2021年10月から2022年3月までに、株主さまから555枚の6回乗車カードをご返送いただきましたので、当社において、苗木1,665本分相当額を寄付いたしました。たくさんの寄付制度のご利用ありがとうございました。

「大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)」への寄付をご希望される場合、6回乗車カード(有効期間内、6回未使用に限る。)をご返送下さい。カード1枚につき苗木3本分相当額を当社から同基金に寄付させていただきます。

贈呈時期及び有効期間

資格確定日	贈呈時期	有効期間
3月31日	6月下旬	7月11日～翌年1月10日
9月30日	12月上旬	翌年1月11日～7月10日

6回乗車カードは、お手許に届いた日からご利用いただけます。

送付方法

200株以上6,160株未満ご所有の株主さま	普通郵便でお送りします。
6,160株以上ご所有の株主さま	簡易書留郵便でお送りします。

左記のほか、毎年3月31日の最終の株主名簿に基づき100株以上ご所有の株主さまに「株主ご優待チケット」(当社グループの施設などで優待サービスを受けていただけるチケット冊子)を贈呈します。(毎年6月下旬発送予定)

株主メモ

株式に関する各種手続は、お取引のある証券会社又は株主名簿管理人にお問い合わせ下さい。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会/3月31日 期末配当/3月31日 中間配当を行う場合/9月30日 その他必要がある場合/あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告
公告アドレス	http://www.nankai.co.jp/ir/koukoku/index.html (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う)

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

ご案内

2022年6月23日に開催いたしました第105期定時株主総会の決議結果及び当日の議場の模様につきましては、当社ウェブサイトに掲載いたします。

<http://www.nankai.co.jp/ir/soukai/>



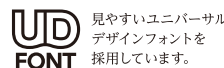
マイナンバーお届出に関する
お問い合わせ先のご案内

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主さまのマイナンバーが必要になりますので、お取引のある証券会社などへお問い合わせ下さい。

南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号 総務広報部 06-6644-7121
<http://www.nankai.co.jp/>

証券コード 9044



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。